

★オレンジ通信★

平成26年度 第1号

いよいよ本格的な、夏が近づいてきました！今年も、熱中症の危険がありますので水分補給をこまめに行うなど、無理しない様にお過ごし下さい。

さて、今年度のオレンジ通信は、精神疾患いわゆる精神病について一般的な知識を説明していきたいと思います。

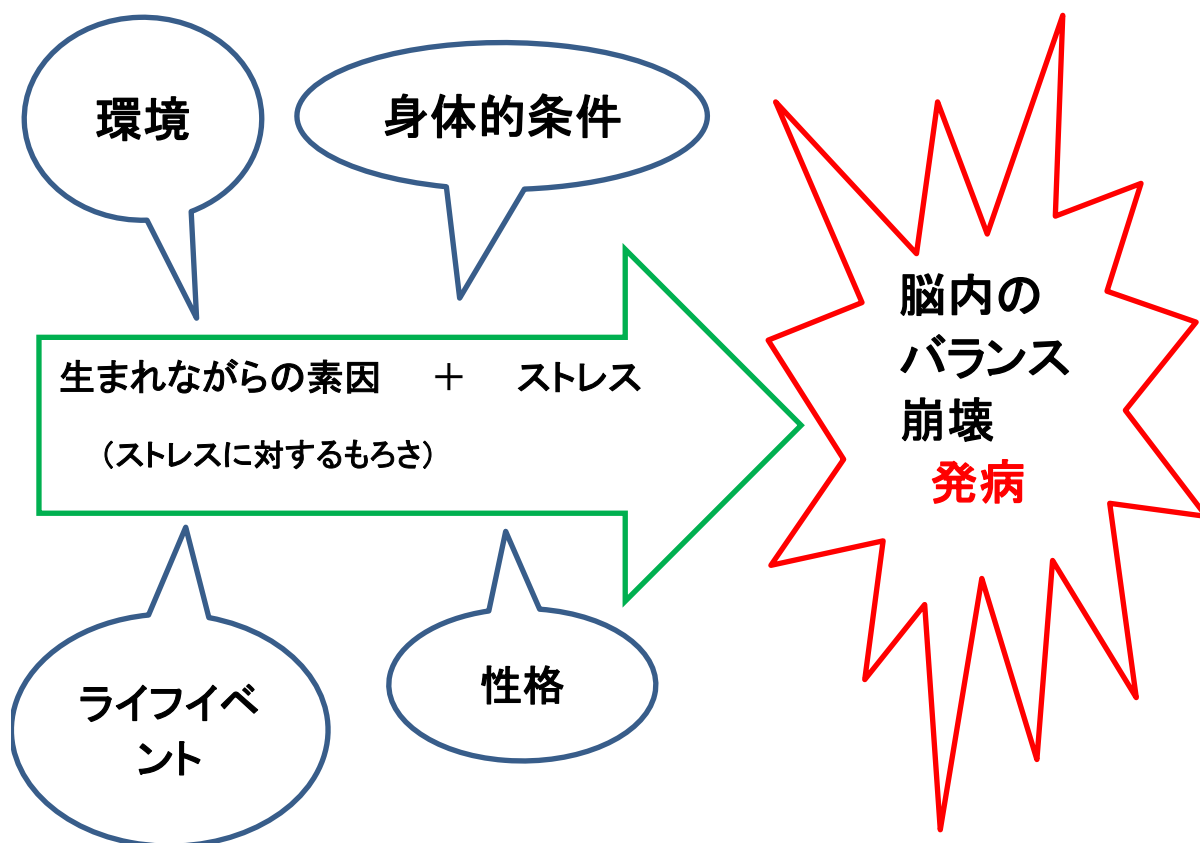
第1回目と2回目は「**統合失調症**」について詳しく説明させていただきます。

統合失調症ってなに??


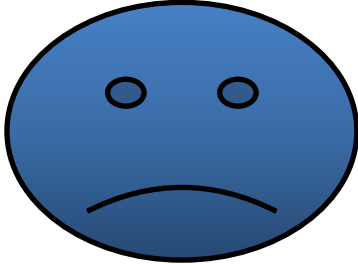
統合失調症とは、100人に1人がかかる「脳の病気」です。思春期から40歳くらいまでに発病しやすい病気です。

原因はいまだにはっきりとしていませんが、脳内で情報を伝える神経伝達物質のバランスが崩れるのが、原因の一つとして考えられています。また、大きなストレスがかかることも関係しているようです。

よく育て方が悪かったと言われる方もいますが、育て方は関係ありません。様々な要因が複雑に絡まることにより発病します。



主な症状としては、大きく分けて陽性症状と陰性症状の2つに区別できます。

| 陽性症状(前駆期・急性期) | 陰性症状(消耗期・回復期) |
|---|---|
| <p>・妄想 明らかに間違った考えや受け入れられない状況について、強い確信を持ってしまうこと。 例「テレビやラジオで自分のことが話題になっている」「誰かにずっと監視されている」「自分の考えが外に漏れている」「誰かが追いかけている」など様々な種類があります。</p> <p>・幻覚 実際に起こっていないことを現実的な感覚として知覚してしまうこと。 幻聴・・・周りに話している人がいないのに誰かの声が聞こえてくる。 幻視・・・実際に存在しないものが見える。 その他にも、幻臭・幻味・幻触等があります。</p> <p>・思考障害 思考が混乱してしまい、考え方に一貫性が無くなってしまうこと。会話に脈絡がなく、ひどい場合は何を話しているか分からなくなる。</p> <p>・感情の不安定さ 過敏になって、ささいなことで怒ったり取り乱してしまいます。</p>  | <p>・感情の平板化(感情鈍磨) 喜怒哀楽の表現が乏しくなるだけでなく他者の感情表現に共感することも少なくなってしまうこと</p> <p>・思考の貧困 会話の量・内容が乏しくなったり、会話が止まったり返答が遅くなります。話のまとまりが悪くなります。</p> <p>・意欲の減退 意欲が乏しくなり、学業・仕事などが続かなくなります。終日ゴロゴロしています。</p> <p>・閉じこもり 周りの出来ごとに無関心で、非活動的になります。</p> <p>・注意・集中力の低下 気が散りやすかったり、注意・集中力が長続きしません。</p>  |

※ただし、全ての症状が現れるわけではなく、人によって症状は様々です。

統合失調症の症状は徐々にゆっくりと回復していきます。また、症状に対し前駆期→急性期→消耗期→回復期に分けることができます。

次回のオレンジ通信では、『病気の経過と症状について』説明していきたいと思います。